



(公財)長浜文化スポーツ振興事業団から、  
講座・教室・イベントの情報を  
お届けします!

## 人形浄瑠璃「富田人形」-夏公演-

百数十年の伝統を誇る人形浄瑠璃を、ぜひお楽しみください。海外からの留学生も出演します。

【と き】 7月31日(日) 13時30分開演(13時開場)  
【と ころ】 びわ文化学習センター(リュートプラザ)  
【演 目】 三番叟、日高川入相花王、東海道中膝栗毛、伊達娘恋緋鹿子  
【入 場 料】 一般発売 1,000円(当日券1,200円)  
夏・秋通し券 1,500円  
※発売は5月28日(土)、高校生以下無料。



【販売所】 長浜文化芸術会館、長浜市民体育館、長浜サンパレス ほか

問 長浜文化芸術会館(☎63-7400)

## 関西フィルハーモニー管弦楽団 リラックスコンサート in 長浜

～夏の夕暮れの一瞬、リラックス空間へのいざない～  
毎年恒例、チケット完売の人気事業。お早めにお求めください!

【日 時】 8月7日(日) 17時開演(16時開場)  
※ウェルカムコンサートは16時20分～  
【会 場】 長浜文化芸術会館(大島町)  
【曲 目】 第1部 フィガロの結婚(モーツァルト)、タイスの瞑想曲(マスネ)  
NHK大河ドラマ「真田丸」テーマ曲(服部隆之)  
歌劇「タンホイザー」序曲(ワーグナー) ほか  
第2部 交響曲第1番 短調 op.68(ブラームス)  
【入 場 料】 全席指定席 4,000円  
※一般発売6月4日(土)10時～、友の会優先発売5月28日(土)10時～  
未就学児は入場不可



【発売所】 長浜文化芸術会館、長浜市民体育館、長浜サンパレス ほか

問 長浜文化芸術会館(☎63-7400)

## アクアウォーキング教室 受講生募集

【日 程】 7月5日～26日 毎週火曜日(全4回)  
【場 所】 浅井B&G海洋センター プール  
【対 象】 一般 【時 間】 9時～10時  
【受講料】 2,000円(全4回) 【定 員】 20人(先着順)  
【申込み】 6月4日(土)から受講料を添えて直接下記まで。(電話予約可)

問・申 長浜市浅井B&G海洋センター (☎74-3355)

浮力により、  
膝や腰への負担が  
軽減されます

血液の循環も良くなり  
心身のリフレッシュに  
最適です

水の抵抗により  
効果的な全身運動が  
期待できます



## 平成28年度 友の会 会員募集中

友の会に入会し、多彩で優れた舞台芸術や文化講座、スポーツイベントに参加しませんか。

【年会費】 1,000円 【有効期間】 平成29年3月31日まで  
【会員特典】 ①前売券の優先購入②イベントチラシの送付③助成券の発行(500円を2枚)  
※その他、詳細は問い合わせください。

問 (公財)長浜文化スポーツ振興事業団 友の会事務局(長浜文化芸術会館内)(☎63-7400)



◀木造伝千手観音立像(正面・持物)

下半身は足首にかけて一気に絞  
り込み、太く柔らかい衣の襷や皺  
を深く彫り込み、衣の端には揺ら  
ぎをもたせ、渦巻文様を3か所に  
置きます。普段見ることのできな  
くられたという説もあります。

軍師官兵衛の黒田家発祥の地と  
して知られる集落に、観音寺はあ  
ります。現在臨済宗妙心寺派寺院  
で、在所の名前から「黒田観音寺」  
と呼ばれます。本堂の厨子内には  
本尊伝千手観音立像が安置され、  
扉が開くとその存在感と威圧感に  
圧倒されます。

## 重要文化財 木造伝千手観音立像(観音寺)

指定日 大正15年4月19日指定  
所在地 木之本町黒田



▲左斜後より

い背面は、衣の裾を後ろに引いて、  
まるで棚のように衣の襷を彫り込  
みます。奈良時代に土や漆を用い  
る技法でしかできなかった深くて  
柔軟な衣の表現を、木に置き換え  
て表現できるようになった彫刻の  
技術に驚かされます。

下半身の衣の折り畳み方や、両  
膝の間に渦巻文様を置くところな  
ど、818年頃の作である京都・  
広隆寺の不空羂索観音立像を彷彿  
とさせます。また、両肩から懸け  
る衣を別につくるところも、広隆  
寺像や川道町・千手院の千手観音  
立像(御代仏・重要文化財)、木  
之本町古橋・鶏足寺の菩薩形立像  
(魚籃観音・滋賀県指定文化財)と  
同様です。衣を別につくって着せ  
るやり方は、何らかの共通の影響、  
環境のもとで考えられたのかもし



▲下半身

れません。  
そして、卵形の顔に目尻を上げ  
た表情は厳しく、後世の補修と墨  
書きによってより厳しさを増して  
います。菩薩像に性別はないとい  
われますが、多くが慈愛の女性を  
モチーフとしているのに対して、  
この像からは男性的な力強さで人  
びとをすくい上げてくれるような  
印象が感じられます。平安時代前  
期(9世紀半ば)の作です。  
通常は堂内での参拝のみ可能で、  
厨子の外に出て調査されることす  
らも希であった門外不出の本像が、  
この7月東京芸術大学 大学美術館  
にお出ましになります。空前絶後  
のこの機会に、ぜひとも会場でそ  
の姿を刮目してください。

問 歴史遺産課  
(☎65-6510)